



とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2542



紫陽花

最終例会

第2542回 例会 令和7年6月24日

点 鐘 … 大木 啓嗣 会長

ロータリーソング … 手に手つないで

来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … 大木 啓嗣 会長

御 祝 披 露 … 大木 啓嗣 会長

誕 生 祝 … 森 はるみ 会員(6月21日)

大木 啓嗣 会員(6月22日)

結婚記念日 … 平幡 照正 会員(6月21日)

入会記念日 … なし

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

銚子RC会長・幹事退任挨拶

会長・幹事退任挨拶

出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム(令和7年7月1日)

会長・幹事就任挨拶

幹 事 報 告 … 島田 博之 幹事

お食事「膳」



THE MAGIC OF ROTARY

ロータリーのマジック

2024-2025 年度 RI 会長 ステファニーA. アーチック

第 2541 回例会(令和 7 年 6 月 17 日)

会長挨拶

大木 啓嗣

企業が加入する婚活用のマッチングサービスを導入する企業が 1000 社を超えるなど、会社が社員の結婚を後押しするケースが増えている。職場恋愛は減少する一方なのに、なぜ会社が社員の婚活を支援するのだろうか。専門家に聞きました。

かつて職場は、恋が始まる場所でした。昭和の映画やドラマでは、仲人が趣味の部長夫妻や後輩に結婚を勧める先輩社員が定番のキャラクターとして登場しました。結婚して家庭を持つことが社会人として一人前の条件とみなされた時代には上司や同僚が「いい人はいるの?」「そろそろ身を固めろよ」などと声をかけるのも、ごく普通の光景でした。しかし、今やそうした会話はすっかり影をひそめています。恋愛や結婚の話題は「ハラスメント」と受け取られないとして避ける傾向が強まっています。

国立社会保障・人口問題研究所が発表している「出生動向基本調査」によると 92 年には初婚同士の夫婦の 35% が職場や仕事を通じて知り合っていました。2021 年には 21% まで低下しています。職場での出会いはもはやありふれたことではなくなりつつあります。そもそも、近年は結婚事態への意欲が低下しつつあります。結婚に消極的な理由としては「金銭的に余裕がなくなる」「行動や生き方が制限される」「メリットを感じない」といった声が上がっています。特に若い世代にとっては、結婚を「人生の必須科目」と見なさなくなっている現実があります。恋愛に対するとらえ方にも変化が見られます。恋愛は時間とお金の無駄と考える 20 代は増加傾向にあります。出会いの機会も減っていることも見逃せません。こうした状況の中で今勢いを増しているのがマッチングサービスです。ネット婚活では初めから結婚を前提とした出会いが一般的です。事前に価値観をすり合わせられますし、ミスマッチも防げます。出会いに慎重にならざるを得ない今の時代に安心して使える仕組みになっているのです。こうすることで出会いから結婚までの期間は短くなるケースが多く（平均して半年から 1 年）仕事で忙しい人にとっては合理的な選択肢となっています。この合理性は昨今いろいろな場面で重視されていることもあり、新しい出会い方として伸長している背景だと考えられます。

職場ではプライベートに関する話題を巡って様々な配慮が求められています。とりわけ結婚や家庭に関することは、気軽に触れられる話題ではなくなりました。背景には「価値観の多様化」があります。ずっと独身でいたい人や法律上の結婚という形を望まない人、様々なパートナーシップが増える中で、社員の人生観に踏み込めなくなっているのです。

結婚はもはや当然の選択肢ではなくなりました。誰もが自分のペースで人生を考える時代に、誰かの期待や「べき論」で語ることが、距離を生む原因になってしまいます。私生活に踏み込む会話を躊躇する空気が生まれた結果、リーダー層からは「職場の人間関係が希薄になった」

という懸念の声も聞かれるようになりました。お互いを知って信頼を得ようとすれば、多少はプライベートに触れる会話も出てきます。

話題が業務内容だけに限られると、心の通う関係性が築きにくくなることもあります。こうした空気感が若手社員の孤立を深め、早期離職やモチベーションの低下につながっている面もあるのではないのでしょうか。大切なのはプライベートの話題を避けることではなく、個人の価値観に関する事柄を「これが当然」と決めつけず、尊重するスタンスを取ることです。

専門家が学生に対してキャリアやライフデザインの講座を行って感じるのは、多くの若者が「自分の人生」について真剣に考えているという事実です。何に重きを置いて、どのように働き、どんな人と暮らしたいのか。そうした問いは誰にとっても大切なテーマです。社員の幸福度や働きがい大切にする企業が増える中で「人と人がつながる場をどう設計するか」は、組織づくりの新たな課題になっています。その解決策として「社員の人生設計を後押しする」目的で企業が結婚や出会いの支援に取り組むケースも増えてきました。この背景には企業側の「社員に生き生きと働いてほしい」という思いがあります。昨今、多くの企業が社員のエンゲージメント向上に力を入れています。ワークライフバランスの充実を後押しする環境を整え、社員の帰属意識とパフォーマンスの向上につなげようとしているのです。既婚者が多い職場や家庭との両立を支える制度が整った職場では、未婚者の結婚意識が高い傾向があることがわかっています。少し前であれば「結婚相手との出会いまで、会社に関わってほしくない」と否定的に受け取られたかもしれませんが、最近は価値観の押し付けにならないように配慮しながら企業側は支援しています。

リモートワークやフレックスタイムといった働き方の変化により、偶然の対話や雑談が生まれにくくなり、孤立感や疎外感を感じている社員もいるかもしれません。だからこそ、意識的に「人と人が交わる仕組み」をつくるのがこれからの組織に求められています。大切なのは職場の中に自然な対話が許容される余地があることです。

人間関係の選択肢が豊かな職場は強いと考えられます。普段接点のない部署や、異なる世代の社員と話せる場があるだけで自分の働き方や人生観を見直すきっかけになりますし、視野も広がります。この視野の広がりは、価値観が多様化し、正解のない時代のビジネスにおいて大きな力になります。多様なものの見方を受け入れられる組織は、変化にも柔軟に対応でき、社員一人一人の発想力や行動力も高めていけるはずです。

実際、自分の好きなことをテーマにした部活動を通じて、社員同士のコミュニケーションを活性化させている企業もあります。こうした職場環境の整備が進めば「この職場ならよりよい人生を築けるかもしれない」と前向きに感じる社員も増えていくのではないのでしょうか。

もちろん、制度や仕組みは土台にすぎません。そこに意味を与えるのは日々の温かな関係性です。

日本の七十二候を楽しむより
6月16日～20日ころ
梅の実黄なり・・・梅の実が熟して色づくころ。

幹事報告

- 1・国際ロータリーより
公共イメージニュース：ロータリーの公共イメージ向上に力を注ぐ 受領
- 2・ガバナー事務所より
RI会長エレクトに関するご連絡 受領
- 3・ガバナーエレクト事務所より
・25-26年度資料・書式ダウンロード差替えのお知らせ
・クラブ委員長セミナーご案内
・危機管理セミナーご案内 受領
- 4・ロータリー米山記念奨学会より
ハイライトよねやま303 受領
- 5・銚子市国際交流協会より
2025年度定期総会資料 受領

五大奉仕委員長退任挨拶

クラブ奉仕委員会

今年度、クラブ奉仕委員長を務めさせて頂きました飯田です。当初の予定通り、多数の親睦行事や5年間継続事業の2年目のドローン教室を実施することが出来ました。皆様のご協力に感謝致します。一年間ありがとうございました。

飯田 貴之 委員長



代読：藤崎 一成 副委員長

職業奉仕委員会

今年度の職業奉仕委員会は、当クラブ会員協力のもと事業を遂行して参りました。しかし、当初に計画した事業は十分な活動が出来ませんでした。

一年間ありがとうございました。

黒田 幸一 委員長



社会奉仕委員会

今年度の社会奉仕委員会は、地域の諸行事への参加・協賛等を通じ交流を深めるよう努めました。十分な活動は出来ませんでした。反省しております。

交通安全運動にご参加

釜谷 藤男 委員長



代読：岡野 繁 副委員長

いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

ロータリークラブをアピールするためにも、引き続き多くの会員が社会奉仕活動に意を用いていただきますようお願い致します。

国際奉仕委員会

森 はるみ 委員長

ロータリー財団への寄付及び、米山記念奨学会へのご協力ありがとうございました。

米山奨学生の柳時源さんも卒業をむかえて、新しい生活へと出発して行きました。カウンセラーの飯田会員には、特別寄付にもご協力いただき感謝いたします。

一年間のご協力ありがとうございました。



青少年奉仕委員会

石毛 園子 委員長

青少年奉仕委員会は、主な行事として8月の関東近県野球大会に始まり、6月の千葉科学大学における留学生交流会で1年が終わります。

その間に、銚子東RCでは5年継続事業である市内中学校における「ドローン教室」が開催されました。

これらの行事では多くの会員の方々にご協力頂き、無事1年を終了することが出来ました。ありがとうございました。



RIニュース

フランチェスコ・アレツツォ氏（イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属）が、2025-26年度国際ロータリー会長として理事会により選出されました。アレツツォ氏は7月1日に会長に就任します。

理事会は、6月8日のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ RI 会長エレクトの予期せぬ辞任を受け、特別会合を開きました。RI 章典と方針に基づき、理事会は、2023年8月に行われた国際ロータリー会長指名委員会によって検討された候補者の中から、新たな会長エレクトを選出しました。

2月の2025年国際協議会で発表された2025-26年度会長メッセージである「よいことのために手を取りあおう」はそのまま継承されます。



ニコニコ

大木啓嗣会長・島田博之幹事

おかげさまをもちまして任期を全うすることが出来ました。ご協力ありがとうございました。

五大奉仕委員会

飯田貴之クラブ奉仕委員長

黒田幸一職業奉仕委員長

釜谷藤男社会奉仕委員長

森はるみ国際奉仕委員長

石毛園子青少年奉仕委員長

会員の皆様、一年間ご協力いただきありがとうございました。

藤崎一成君

昨日 6/16 付、日本経済新聞朝刊にてMDR T大同会の一面広告が掲載されました。お陰様で 10 年連続となり、終身資格を頂きました。これも偏に銚子東RCの皆様の支援の賜物です。

石毛園子君

大木会長、島田幹事 1 年間お疲れ様でした。来週の最終例会は、仕事で欠席させていただきます。

板倉裕美子事務局員

大木会長・島田幹事、1 年間お疲れ様でした。

7 月例会スケジュール

第 1 例会 7 月 1 日

会長・幹事就任挨拶

第 2 例会 7 月 8 日

銚子RC会長・幹事就任挨拶

五大奉仕委員長就任挨拶

第 3 例会 7 月 15 日

ガバナー補佐就任挨拶・卓話

第 8 グループガバナー補佐 北川 幸靖 氏

第 4 例会 7 月 22 日

休会（定款第 7 条第 1 節（d）により）

第 5 例会 7 月 29 日

卓話「未定」

村 昭寛 会員 又は 本庄 秀樹 会員

新旧理事会・第 12 回定例理事会

日 時：令和 7 年 6 月 17 日（火）18：30「わ」議 題

- | | |
|-----------------------------|----|
| 1・例会休会の件 | 承認 |
| 7/2（火）定款第 7 条第 1 節（d）（1）により | |
| 2・7 月例会スケジュールの件 | 承認 |
| 3・創立記念例会収支決算書の件 | 承認 |
| 4・千葉科学大学留学生交流会予算（案）の件 | 承認 |
| 5・八犬伝プロジェクト協賛の件 | 保留 |
| 6・2025 年規定審議会決定報告書の件 | 承認 |
| 7・次年度会計監査選任の件 | 承認 |
| 8・次年度予算前確定支出の件 | 承認 |
| 9・年会費及び臨時徴収金の件 | 承認 |
| 10・第 8 グループ負担金の件 | 承認 |
| 11・次年度メイクアップの件 | 承認 |
| 12・退会者の件 長谷川弘会員 6/30 付退会 | 承認 |
| 13・次年度委員会構成（広報・会報委員会）変更の件 | |
| 長谷川弘委員長→大久保隆史委員長 | 承認 |

前回の例会（6/17）報告

点 鐘 大木 啓嗣 会長

出席報告

会員総数	30 名	出席規定除外数	2 名
出席者	22 名	出席率	75.86 %
6月3日		確定出席率	86.21 %

来訪ロータリアン なし

欠席者 7名

メイクアップ

大木君 島田君 (6/21 第 8G 会長幹事会)

スモールコイン BOX	小 計 ￥ 1,900-
	累 計 ￥ 67,700-
ニコニコBOX	小 計 ￥ 34,000-
	累 計 ￥215,564-

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館4階 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 大木啓嗣 副会長 飯田貴之 幹事 島田博之

クラブ広報・会報委員会 石井哲也・澤田武男・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。